
シンディ

キップル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シンディ

【Nコード】

N4087I

【作者名】

キップル

【あらすじ】

シンディはどうして着飾ることをしないのでしょうか？

シンデイのお勤めは6時から12時まで、『クリスタル・パレス』

お酒は弱いからいつもへロへロになって帰って来る

新聞も取っていないしワイドショーしか見てないから

話題と言ったらお客さんに合わせるだけの薄っぺら

もともと頭の回転がいいというだけで好かれてきた

足とお尻はきれいと言われるけれど胸が小さいし

斜視が魅力なのに自分ではそれがコンプレックス

誰も好きにならないように構え続けていた

何度も墮ろしたせいでもう妊娠することはできなかった

だらしない男たちばかりだった理由は自分が悪い、と

そういう男を好きになってしまっ自分が淫らだからと

(最後の男にそう言われたから)信じ込んでいた

美人だったから店を探すのは容易かったけれど

同じ場所に1年通い続けることはなかった

そうしてシンデイはどんどんむしばまれていった

からだど、たましいと

彼は、シンデイを求めなかった

いや、求めていたのだろうが、ただ会話するだけだった

彼は話し、それよりもっと聞いた、彼女のことを

彼といるとシンデイは、話さなくていいことまで喋っていた

とても嬉しかったけれど、同時に不安だった

彼女を抱こうとしない彼のことが、恐かった

ある日、少し早く起きた午後(！)、コンビニで彼と会った

素颜だからと照れると、十代に見えるよ、と彼は言った

去年まで十代だったからそれもそうだけど

喫茶店でお茶とパンプキンパイをごちそうになった
店とは違い、彼はほとんど喋らなかつた
でも偶然（今まで気づかなかつたほうがおかしいけれど）
彼が結婚しているらしいと分かつた
その夜、彼女は店を休んで部屋で酒を飲んだ
吐いたあと、便器にもたれてそのまま眠つた

次の日、店に彼がやって来たけれど、一言も話さなかつた
自分でもよく分からないまま同僚に絡んで荒れた
マスターが「今日は上がつていいよ」と氣遣つてくれた
まだ体調が悪いんだからと、優しくかつた
着替えてドアを開け、タクシーを待つた
ようやくつかまえた車が停車するのと同時に、彼が呼んだ
シンデイ

慌ててタクシーに乗り込もうとしたとき、かたつぱの靴が脱げた
シンデイ、待つて
無表情を装つて運転手に行き先を告げる
シンデイ、シンデイ

君の、ほんとの、名前を、呼びたいんだ

何日もたつて彼女は、またコンビニに行った
彼は、シンデイの靴のかたつぱを持って待つていた
おはよう、シンデレラ
バツイチの中年の王子様でよかつたら、踊つてくれますか？

彼女は怒つて、笑つて、泣いた

M
に

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4087i/>

シンディ

2011年1月13日07時21分発行